

第		30		回						
住	民	の	自	治	・	統	治	研	究	会
	ご		あ		ん		な		い	

文献講読(その2)「地域コミュニティと行政の新しい関係づくり」

～全国812都市自治体へのアンケート調査結果と取組事例から～

と き:2014年9月20日(土)午後1時30分～4時

ところ:大阪自治体問題研究所会議室

『地域コミュニティと行政の新しい関係づくり』～全国812都市自治体へのアンケート調査結果と取組事例から～2014年3月「公益財団法人日本都市センター」から、第3・第4章を講読します。研究会のみなさん、ぜひ参加をお願いします。

前回 2014.8.23 研究会の報告

文献講読(その1)『地域コミュニティと行政の新しい関係づくり』報告佃

(1)序論の名和田論文から第2章までの各論文に対して、疑問が多く出され、同意や賛同の意見は全くなかった。理由は、地域コミュニティの現状、行政の姿勢や実態に対するアンケート調査から、全体的な論点を提示するこれらの論文の基本姿勢に疑問が集中した。

例えば、①社会福祉の観点なしでコミュニティ政策が進められるのか、②自治体の本来的な役割をまず定義して自治体とコミュニティとの関係を考えるべきではないか、③この報告書は誰に向かって書かれたものか、よくわからない、④住民と同じ目線に立たず、上からの目線による論文であり、このような姿勢では到底コミュニティ政策の推進や町会・自治会の加入率を高めることはできないなど、報告書の基本を全否定するといってもよい議論となった。

(2)ここでの隔たりは、都市自治体の実態を踏まえた課題と解決への取組、今後の都市自治体と地域コミュニティの連携の在り方の知見を得ると報告書の趣旨と、研究会メンバーのコミュニティや自治体に対する理念の相違が顕在化したものといえる。

(3)とは言え、第2章までで本報告書に対する評価を急がずに、最後まで講読し、もう一度報告書の意義を評価してみる必要がある。

◆第31回研究会 2014年10月 日(土)午後

「地域コミュニティと行政の新しい関係づくり」(その3)、第I部の第5章、第II部都市自治体における地域コミュニティと関係施策の実態～アンケート調査分析から～を講読

当研究会は自主研究会ですので、参加者には資料代1回=500円の負担の協力をお願いしています。

主催=住民の自治・統治研究会 (06-6354-7220)